

会 議 録

会議名	第3回木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会		
開催日	令和5年12月8日(金)	場 所	駅前庁舎8階 防災室・会議室
時 間	午後3時00分～午後5時00分		
出席者	委員：北野幸樹委員、土田寛委員、吉武美由紀委員、青木健委員、 中原まどか委員、中村悌己委員、萩本亜矢委員、石井宏典委員、秋元淳委員 事務局：企画部 品川次長 地域政策室 鈴木室長、鴫田係長、鈴木主任主事 株式会社日建設計 土屋氏、犬塚氏、甚内氏、渡辺氏 (木更津飛行場周辺まちづくり実施計画(吾妻公園)策定支援業務受託者)		
議 題	1 まちづくり実施計画(吾妻公園)中間報告 2 今後のスケジュール		
公開・非公開の別	議題1～2 公開		
傍聴者数	5人		
配付資料	○会議次第 ○資料1 まちづくり実施計画(吾妻公園)中間報告 ○資料2 今後のスケジュール		
会議概要	別紙のとおり		

【会議の概要】

○事務局（鴫田係長）

本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

本日の会議は公開で行わせていただきます。

また記録のため、録音、写真撮影をさせていただきますので、ご了承ください。

ご発言される際は、マイクのボタンを押した上でご発言いただきまして、終わりましたら再度オフに切り替えていただくようお願いいたします。

会議の傍聴を希望される方がおりますので、ここで傍聴人の方に入っております。

【傍聴人入場】

それではただいまより、第3回木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会を開催いたします。

本日の司会進行を務めさせていただきます企画部地域政策室の鴫田でございます。よろしくお願いいたします。

ここで会議の定足数についてご報告させていただきます。附属機関設置条例第6条の第2項の規定によりまして、会議は委員の半数以上の出席がなければ開くことができないとなっております。本日は山崎委員より事前に欠席の連絡を受けておりますが、全10名中9名のご出席をいただいておりますので、委員会は成立することをご報告させていただきます。

それでは初めに北野委員長よりご挨拶をいただきたいと思っております。北野委員長よろしくお願いいたします。

○北野委員長

北野でございます。よろしくお願いいたします。

7月に始まったこの検討会委員会ですけれども、もう12月ということで、次が12月終わりに予定されております。第4回であらかたの計画内容を決めていくというスケジュールの中で、今日は第2回までの皆さんのご意見をもとに、中間報告という形で行われるものです。

本日は第2回までのいろんな意見が集約されたものとして、提案されるものに大きな期待を寄せているところですが、委員の皆様もそれをもとに、またさらなる忌憚のないご意見をいただきまして、よりよい計画とするようにご協力をいただければと思います。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（鴫田係長）

ありがとうございました。それでは、早速議事に入りたいと思っております。

附属機関設置条例第6条第1項に、委員長が会議の議長となるとありますので、ここからの議事進行につきましては、北野委員長にお願いしたいと思います。北野委員長よろしくお願いいたします。

○北野委員長

それでは議事を進行させていただきます。

本日の議題は2件となっております。まずは、議題1、「まちづくり実施計画（吾妻公園）中間報告」について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（鈴木室長）

地域政策室の鈴木でございます。議題1及び以降の議題につきましては、株式会社日建設計よりご説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。

【株式会社日建設計より「資料1 まちづくり実施計画（吾妻公園）中間報告」を説明】

○北野委員長

議題1の実施計画中間報告について説明をいただきましたけれども、この内容につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

○青木委員

まず大屋根広場の盛土で、実際に避難できるのは何人ぐらいでしょうか。

また、もう一点は要望になりますが、この公園に緊急用のドクターヘリが止まるような場所を設けていただけるとありがたいと思います。

○日建設計（渡辺氏）

盛土に関してですが、それぞれの図上で茶色のところが3m以上の場所を確保しているというエリアです。こういう一時的な緊急避難場所といった時に、1㎡当たり1人というのが、1つの基準としてもありますので、案1では約1,000㎡ですので1,000人ぐらい、案2では約450㎡ぐらいですので450人ぐらいというところで想定しております。

○萩本委員

ホールのフライタワーについて、あまり利用されない機能を省こうということですが、ホール自体、外から呼ぶような主催公演が多いのか、市民が予約して利用するようなものの方が多いのかどちらを考えて設計されるのかということが教えてください。

○日建設計（甚内氏）

あくまでも想定にはなりますが、市民の方々が使われる方が多いのではないかと考えています。

ただ外部から来て頂き公演していただくことももちろんあると思いますので、フライタワーがなくても対応をしている事例などを確認した上で、今の検討案になっているところでございます。

○萩本委員

日本橋にある三井ホールのようなイメージでしょうか。

○日建設計（甚内氏）

近いイメージかと思います。

○中原委員

スタジオというのは、通常の公民館の大ホールのようなものをイメージすればよろしいのでしょうか。

○日建設計（甚内氏）

現状も多目的ホールがあると思いますが、それと同規模の300㎡程度を想定しています。使われ方としては、大規模なミーティングや講演会、小ホール的な使い方もできると思います。また、ホールのリハーサル室として使われることも想定しており、いろいろな使い方ができるのではないかと考えております。

○中村委員

スタジオについて2階部分まである必要性ってどこまであるのでしょうか。

○日建設計（甚内氏）

公民館のある2階と図書館のある3階をそこまでゆとりのある階高に設定はしていませんので、300㎡とかなり大きなスタジオのスペースに対して、公民館や図書館と同じような天高で利用頂くのは少々難しいのではないかと考えております。

ですので、ホールのリハーサルや大きな講演会などをするにあたっては、おそらく2層吹き抜けの方が良いのではないかと考えております。

○秋元委員

公民館面積に関して、防災の関係で避難所に必要なものを倉庫の中に入れていくと公民館の面積がどんどん減っていくことも想定されますが、いかがでしょうか。

○日建設計（甚内氏）

公民館1,000㎡という数字に関しては、この諸室の表にある会議室等の合計面積と考えております。防災に関しての倉庫が実際どのくらい必要になってくるかは、おそらく今後決まってくるかと思っておりますので、ホール、図書館、公民館の面積を合わせた8,300㎡の中で共用部等と調整していく方向で検討するものと考えております。

○秋元委員

中央公民館は今の場所に移る前には陶芸窯がありました。陶芸窯を建物の中に置くのは無理だとしても外に置くといったことなど可能なのか、防衛省との関係でもう難しいのか、その辺も教えてください。

○事務局（鴫田係長）

昔の中央公民館に陶芸窯があったことは承知しております。防衛省と特にその辺に関して具体的な話はしていないので、今後の協議かと思っております。施設の中に設けていくことは難しいかなと思っておりますので、例えば屋外で設けられるかなど今後の検討とさせていただければと思います。

○北野委員長

細かい設えに関してはこれからのことになっていこうかと思っておりますので、そういったご意見も踏まえて、記録として残しておいていただくと良いかなと思っております。

○吉武委員

ホールの楽屋に関する質問になります。今の平面図ですと、ざっくり楽屋となっていますが、これ何部屋ぐらい取れる予定でしょうか。

○日建設計（甚内氏）

小楽屋がたくさん欲しいのか、又は大きな楽屋は二つで小楽屋は少しでよいなど、ご要望によって楽屋の数は変わってくると思います。現時点ではひとまず、小楽屋数部屋と大きめの部屋を取る想定をしています。加えてトイレやシャワー、パントリー等が必要と考えますが、この楽屋エリアの中で今後調整をしていければと思います。

○青木委員

公民館に関して、会議室エリアがありますが、その中でだいたい何部屋ぐらいとれる想定でしょうか。

○事務局（鴫田係長）

この1,000㎡とした根拠として、今の中央公民館と同等の会議室を確保できるようにということで面積設定させていただいております。ですので、少なくとも今ある会議室およびスタジオといったぐらいの広さは確保できるのではないかなと思っております。

また、先ほどの点も含めて補足をさせていただきますと、今回、まちづくり実施計画の役割として、あくまで施設構成として、ある程度の面積およびそれぞれの機能ごとの配置を示すフェーズと考えております。ですので、部屋の中の会議室が何部屋かというようなお話もいただいておりますけれども、この部分に関しましては、来年度以降、具体的に設計が入ってくる段階で、皆さんの意

見も伺いながら細かく部屋数や大きさなどを決めていければと思っております。今年度はあくまで全体の構成の中で、図書館が、例えば3階4階にくるですとか、公民館が今のところこのあたりに配置されるといったところの把握をしていただければと考えております。

○中村委員

今回イベントのスペースの場所はどちらもグラウンドレベルで想定していると感じたので、案1と案2の折衷案がいいかなと思います。

盛土は臨時の避難をした時にも、元から人が溜まるところから施設2階にそのまま移動ができるっていう方が、何か理想的なのかなっていうふうにちょっと思ったところです。

ですので、その盛土の面積をもう少し広げて、緩やかなスロープを広く取れるのであればそのようなことも考えていいのかなと思いました。

○日建設計（渡辺氏）

ありがとうございます。この盛土の上のスペースをどのぐらい確保するのがいいのかというのは、いろいろ検討してきたところではあるのですが、案1では盛土の上と建物前のグラウンドレベルで、中ぐらいサイズの広場が2つあるという案となっております。

確におっしゃる通り、盛土の上できちんと大きく広場を確保するという考え方もあるのですが、一方で、日常的に普段人がわざわざ上に上がっていくかなっていうところもありまして、やはりグラウンドレベルの人が行きやすいところに人は溜まりやすいのかなとも考えているところがございます。また、案1のほうでは、盛土を海側に配置していますけど、実はこういうところに置くと結構風が強かったりする懸念もあり、それらの別案として案2が出てきたというところがございます。

○事務局（鴫田係長）

補足といたしまして、今回欠席されておりますが、山崎委員からも、人は心理的に低いところに集まる傾向にあり、盛土の上にわざわざ集まるということは考えにくいのではないかとご意見もいただいております。

先ほど中村委員からの意見にもありましており、折衷案として今後その辺を含めて検討させていただければと思っております。

○北野委員長

実際、3mというのはアイレベルより高いところなので、3mの上で何をやっているのかは見えにくい。3m上がると1階分上がりますから、上と下のアクティビティがコンタクト取りづらいところというのはいろいろ出てくるのかなという気はしています。

同時に今この絵でいくと、案1の方で3mのところ避難したよって言いながら、実際には建物に入りにくい。2階には公民館がありますが、公民館はフルオープンにするのかなど。

また、本当の避難所はホールと想定するわけなので、その意味でいくと案2のように、広場から避難して、高台に登ってそのままエントランスからホールまで通じてるよという動線の計画を考える方が、今回の計画で盛土をする意味があるんじゃないかなというふうに理解しています。

その反面、キッチンカーのようなものを広場に持って行って、広場と建物下のピロティ部分の連続性も作りながら、空間的に多様な利用ができるっていうことは、大きな利点かなというふうに理解しているところです。

○中原委員

図書館が今3階の方に移っているんですが、図書館に来る方、結構いろいろな方がいらっしやると思うのですが、その方々がうまく上に上がっていく方法はこういったものでしょうか。

○日建設計（甚内氏）

図書館への動線に関してですが、こちらのメインエントランスを入れてすぐのエレベーターと階

段であがっていくことになります。

○中原委員

エレベーターのみですか、エスカレーターとかはないですか？

○日建設計（甚内氏）

こちらは概念的にエレベーターと階段を記載しております。エスカレーターのほうが使いやすいとか、処理能力が大きい等いろいろとご意見があるかと思しますので、今後それらを踏まえながら具体化していくものと考えております。

○北野委員長

そのほかいかがでしょうか。皆さん大体ご意見をいただいたように思いますけれども。

今の内容で、ぜひこれから展開していきたいと思うところですが、今回は案1と案2ということでご提示いただいてですけれども、全体計画のランドスケープの方では、案2の方で進めていただいていたように思います。案2のような広場の本来持つ広場の使い方ができる、かつ、盛土として、避難施設としてのホールとの連続性だとかってということも考えた上で、案2のほうをベースにしながら、今後展開をしていただくというような方向性でよろしいでしょうか。

多分皆さんのご意見を聞いていると、そのような流れかなというふうに私は認識しているところ です。

○土田副委員長

先ほどのご質問にもちょっとあったと思うのですが、防災公園的なイメージとして、盛土というのは基本計画に入っているのですが、そういう意味では、先ほど折衷案というお話もありましたが、案2は、基本的にはもう盛土ではなくて、避難階を建築施設の2階レベルに持っていこうって理解です。

基本計画にあるので、役所としては消せないのですが、もう、盛土はなかったことにしていっちゃっていただいちゃった方がいいかなとも思います。

というのは、個人的な意見になりますけど、今案1のほうは盛土が20%ぐらいの法面勾配です。斜面自体は子供が登るとちょっと危ない。お年寄りなんかはまっすぐ上がるのは難しく、成人でも息が切れてしまう。

一方で案2だと、盛土法面が国道の敷地際まで出てきてしまう。そうすると細長い敷地なので、公園の北と南が分断されているような風景になっちゃうような気がします。

駐車場の利用者がどれぐらいいるかわかりませんが、施設北側から入ってきて、抜け道のようなところを通してからメインに行くような感じもあり、せっかくいい観劇をするために、着飾って、うきうきしてきたのに対して寂しいかなという気がします。法面のバリアフリースロープもお年寄りがやっとなんか登れるぐらいのもの。

お金との相談にはなりますが、子供は起伏が大好きなので、多少起伏がいくつかあるといった公園ほうが子供のアクティビティ性は高い。

また、津波警報が出たときに、公園内にいる人たちには防災無線で知らせるのでしょうか。そういったことも念頭に置いて防災性能をいかすということは考えておいたほうがよいと思います。

いろんなことを申し上げましたが、案2の2つに分かれてしまっている南北の公園をつなぐところの設えについて、盛土のあり方に絡めてご意見を申し上げたというところです。

○北野委員長

ありがとうございます。すごく貴重な要素を含んでいるご意見だと思いますので、ぜひ検討事項としてお考えいただければと思います。

僕からも一点。今、市の全体計画の中で駅前市の庁舎や中心市街地の活性化だといった大きな枠組みが動いているわけですが、展望広場に上がったなら駅前庁舎と視覚的にコンタクト取れますか。

僕は最初に市庁舎の計画をしている時に、海まで全部見通せる展望広場作ってくださいとお話をしてきたのですが、それに呼応してここに展望広場を作ってくれたとするならば、とっても嬉しいなと思っているところです。

何を言いたいかというと、公共施設を市の中にたくさん整備していく中で、それぞれの立ち位置が、例えば市役所は市役所です、ホールはホールですという町の作り方に、もう限界を感じています。これから先、人口が減っていく中で、それぞれの施設の役割が、しっかりと市民の方々に理解されて、それを大切に思って愛着を持って大事に使おう、だから木更津市に長く暮らそうというふうに感じてもらえるためには、姑息な手かもしれませんが、公共施設同士の関係性がやっぱり目に見えるって大事だと思います。だから行ってみようって思うかもしれない。

そういうことも含めて、Google かなんかでシミュレーションすると多分、この辺高い建物がないので、互いに見えるかなってということも含めて、今後ぜひご検討いただきたいなという意見です。

○土田副委員長

これは多分、市の方も含めてまた余計なこと言うなって言われるのですが、せっかくこの広場をグラウンドレベルに落としてイベントをやりやすくしてアクティビティを高めたいという趣旨はわかりますが、この断面図にあるように、図書館4階と展望ラウンジからは見下ろし角が取れないので、そうすると清掃の行き届かないテントがみえるといったとても寂しい見下ろしの風景になる懸念があります。これは作るにしても、可動式といった常時張り出さなくてもといった工夫が必要なのではないかという感じがします。

また、屋根に対してちょっと一考をお願いしたいのは、樹木は雨があたらないと育たない。雨が葉っぱの表面の汚れを落とすっていう効果がないと、窒息しちゃうっていうのもあるので、そういう意味では雨掛かりというのはとても重要です。植栽のメンテナンスにもコストがかかりますし、今後の植栽計画において配慮いただきたいと思います。

そういうことも含めて大屋根下が施設からの見下ろし角で見えなくなっちゃうのはもったいないなとも思います。北野委員長ご指摘のレガシー的な意味での公共施設同士の市民の認知というのがありますけど、うまく活用されていて、市民が元気になって楽しくしているっていうのを相互に見れるっていう関係はまさに公共施設の目指すべき一つの姿だと思うので、工夫があったらいいなと思います。

○中原委員

光に関連して、図書館などは、先ほどからガラス張りで眺望がいいというのはお伺いしているいなと思うが、そうすると書架のある部分が随分限られてくるのか、どうやって確保するのでしょうか。

○日建設計（基内氏）

図書室の中の具体のレイアウトは今後ご相談しながらと考えていますが、例えば、窓際に本を閲覧するエリアを一部とり、内側を書架スペースにする、などが考えられると思います。その他、庇やスクリーンを入れるなども今後の検討と思います。今の段階はまず、図書館のエリアを3階4階とし、気持ちよく外を見ながら勉強したりということを考えるならば、海への間口は広く取りましょう、ということまでを、この段階で計画したということになります。

○土田副委員長

何冊ぐらいの蔵書数が予定されているのでしょうか。

○事務局（鴫田係長）

新木更津市立図書館整備計画では、40万冊の蔵書数を目指すとしております。ただ、実際に現在の図書館で開架しているのは15万冊というところで、書架と書架との間がかなり狭い図書館になっております。今後の施設では、少しゆったりしつつ、書架間の幅を広げ、背も低くするというのを踏まえすと、一般開架冊数は、おそらく現状程度かなというところを想定しております。

○土田副委員長

開架ベースで10万冊って結構すごい図書館ですよ。指定管理者をお考えですか。

○事務局（嶋田係長）

具体の運営に関しては、今後の検討というところになっております。

○土田副委員長

市民の方たちの意識と図書館との付き合い方の問題なのですが、例えば、基本は流行本を読みたい人が読むというタイプの図書館と、郷土史を含めた市の貴重な歴史アーカイブをきちんと公文書館的に持つところではちょっと機能が違うと思います。そういう意味では今、40万冊のうちの内訳がどういうふうになっているかによって多分レイアウトが決まってくると思います。

○中原委員

木更津の図書館は資料系の割合がとても多いです。

○土田副委員長

素晴らしい。それでしたらここですべて開架するわけではなく閉架は別というやり方もありますので。

○北野委員長

その他に何かございますでしょうか。

たくさんのご意見をいただいたところですけれども、それらも踏まえた次回でのご説明をいただけることを大いに期待をしたいなというふうに思っています。

蛇足的なことでもちょっと一点、これは会議と関係ないのですが、参考事例として既設のもの写真等をこういう資料にはよく貼りますが、イメージが固定化されてしまう可能性があるのも、個人的にはやめたほうがいいと考えます。木更津市さんが新たな公共性づくりに取り組まれていることを前提に、100年後を考えると、せっかくここまで皆さん、委員の先生、受託事業者さんも頑張っているから、せっかくなら突き抜けていきたいなというふうに思いますので、ぜひご協力いただければと思います。

では時間も時間になってきましたけどよろしいでしょうか。今日の議論をここまでとさせていただきながら、次回またよろしく願いいたします。

もう一点だけ、議題2の今後のスケジュールについてということですので、事務局よりご説明をいただければと思います。

○事務局（鈴木室長）

議題2の今後のスケジュールにつきましてご説明申し上げます。お手元の資料2をご覧くださいと思います。

第1回検討委員会の際に今年度の会議日程の目安を示させていただいておりましたけども、策定作業を進めていく中で変更が出てまいりました。改めて今後のスケジュールにつきまして、お知らせをさせていただきます。

まず、第4回の委員会を今月25日に開催いたしまして、その後、2月3日よりパブパブリックコメント、2月下旬には住民説明会を実施いたしまして、5回目の委員会を3月中旬に開催する予定としております。

詳細な日程につきましては確定次第、早めにお知らせをさせていただきたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。また別途開催通知をその都度送付させていただきますので、併せてよろしく願いいたします。

○北野委員長

ありがとうございます今、今後のスケジュールについてのご説明をいただきましたけども何かご質問等ございますでしょうか。

それでは以上で本日の議事すべて終了でございます。ご協力ご意見賜りましてありがとうございます。

○事務局（鵜田係長）

北野委員長ありがとうございました。

委員の皆様におかれましても、長時間のご質疑ありがとうございました。

それでは以上をもちまして第3回木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

上記会議録を証するため下記署名する。

令和6年1月10日

木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会委員長 北野 幸樹